

平成27年11月

平成27年 7月 ~ 9月期 実績
平成27年 10月 ~ 12月期 見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

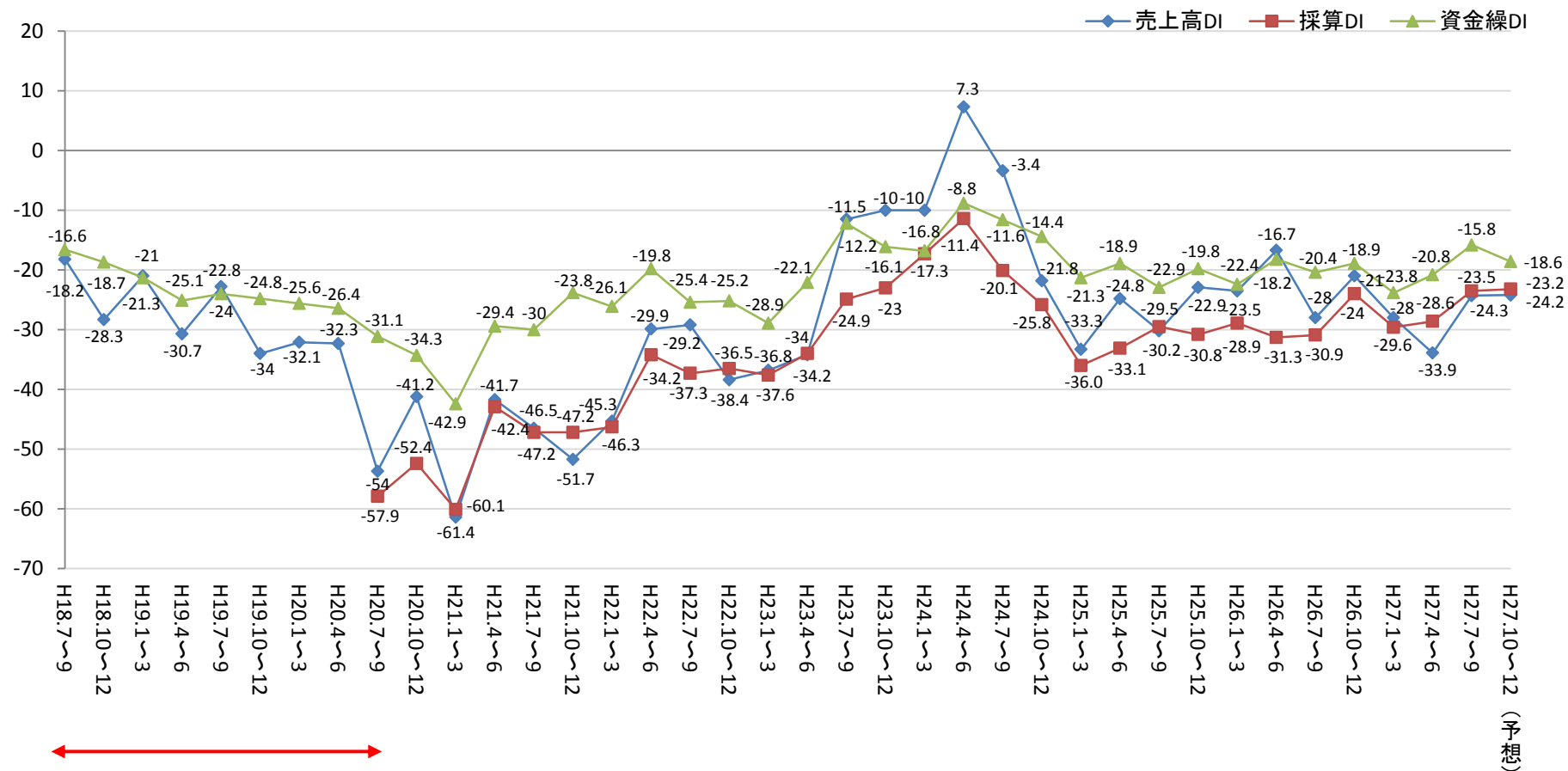
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成25年	平成26年				平成27年			(見通し)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製 造 業	 薄曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 曇	 曇	 雨	 薄曇	 曇
建 設 業	 晴	 快晴	 快晴	 薄曇	 薄曇	 曇	 雨	 雨	 曇
小 売 業	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

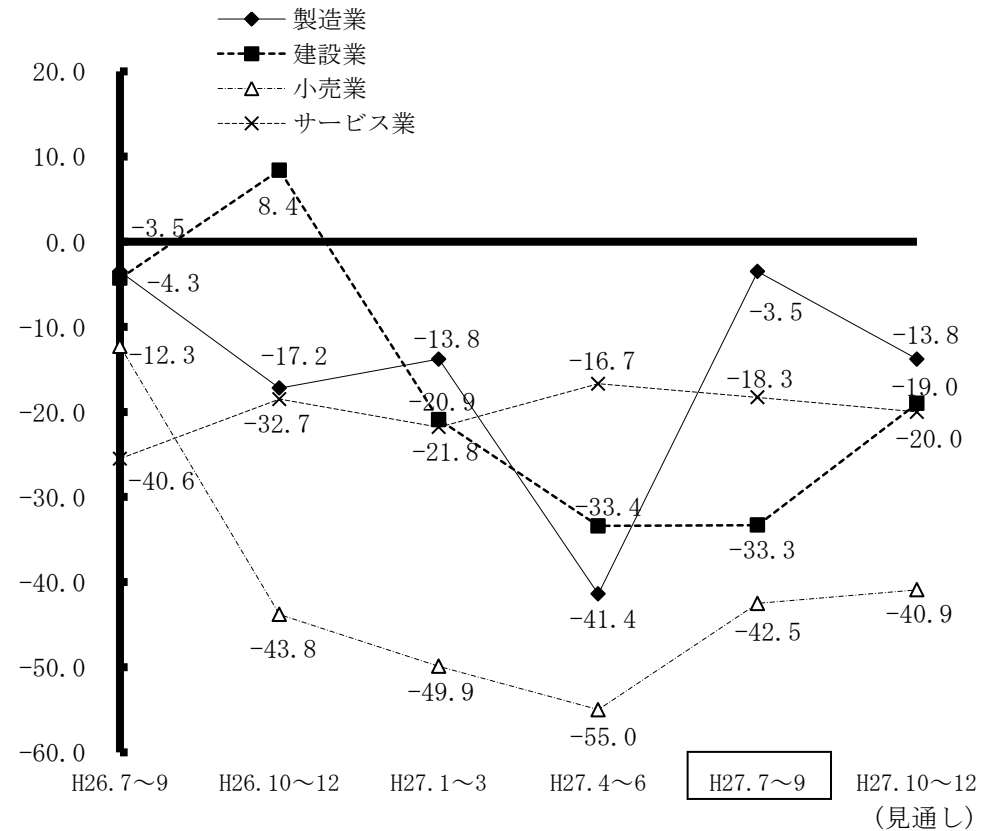
売上高

製造業が大幅に回復

今期は、製造業が、37.9ポイント上昇し、△3.5と大幅に回復しました。

また、建設業においては、0.1ポイント改善の△33.3でほぼ横ばい、小売業においては12.5ポイント上昇して△42.5に回復、サービス業においては、1.6ポイント減少の△18.3とほぼ横ばいとなりました。

来期は、製造業において減少が予想されるものの、建設業が回復、小売業、サービス業においては、ほぼ横ばいの見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

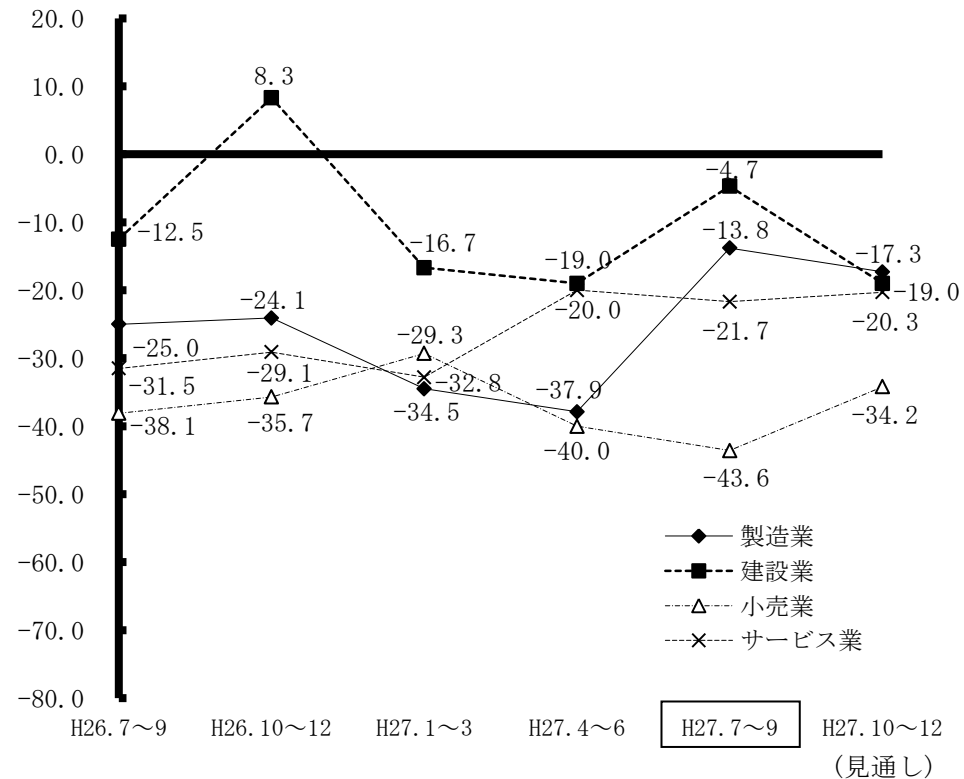
採算

建設業、製造業の採算が改善

今期は、製造業が、売上高D Iの大幅な回復をうけ、△13.8まで改善しました。

建設業では14.3ポイント上昇し△4.7、小売業では3.6ポイント減少の△43.6、サービス業はほぼ横ばいの△21.7となりました。

来期は、製造業及び建設業において、悪化が見込まれるものの、小売業及びサービス業においては改善の見通しです。



※採算は各業種とも経常利益

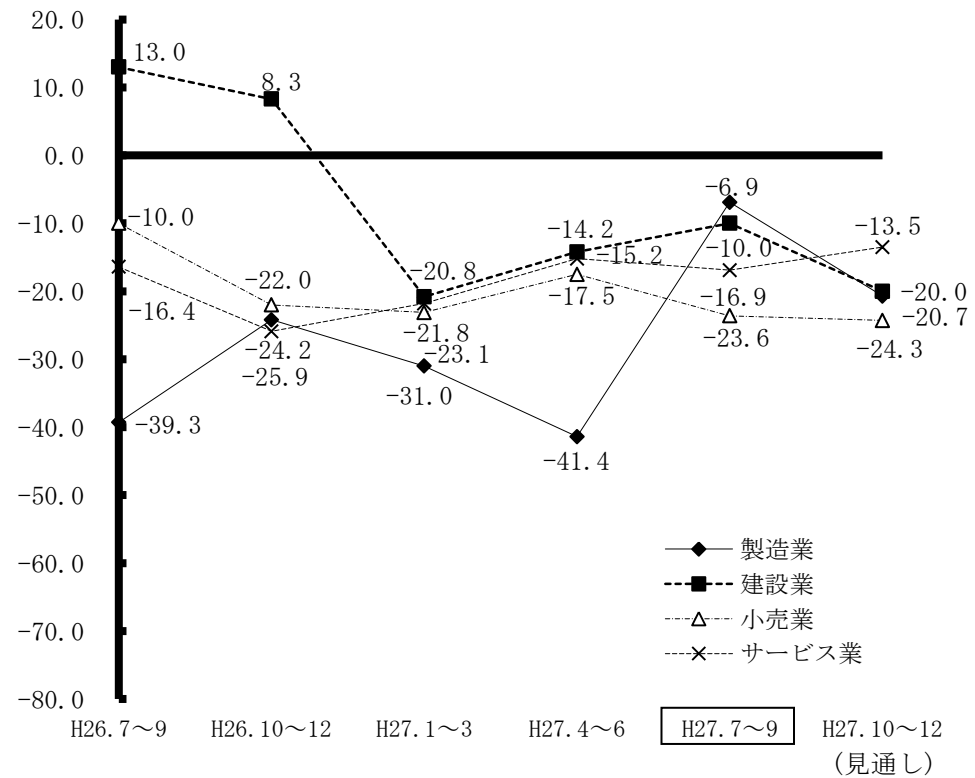
全産業の推移

資金繰り

製造業で資金繰りが大幅に改善

今期は、製造業において、34.5ポイント上昇し△6.9まで回復、建設業においても4.2ポイント上昇し△10.0、小売業では6.1ポイント減少の△23.6、サービス業がほぼ横ばいの△16.9となりました。

来期は、製造業及び建設業で減少するものの、小売業では横ばい、サービス業では小幅に回復する見通しです。



製造業の推移

売上高

<今 期>

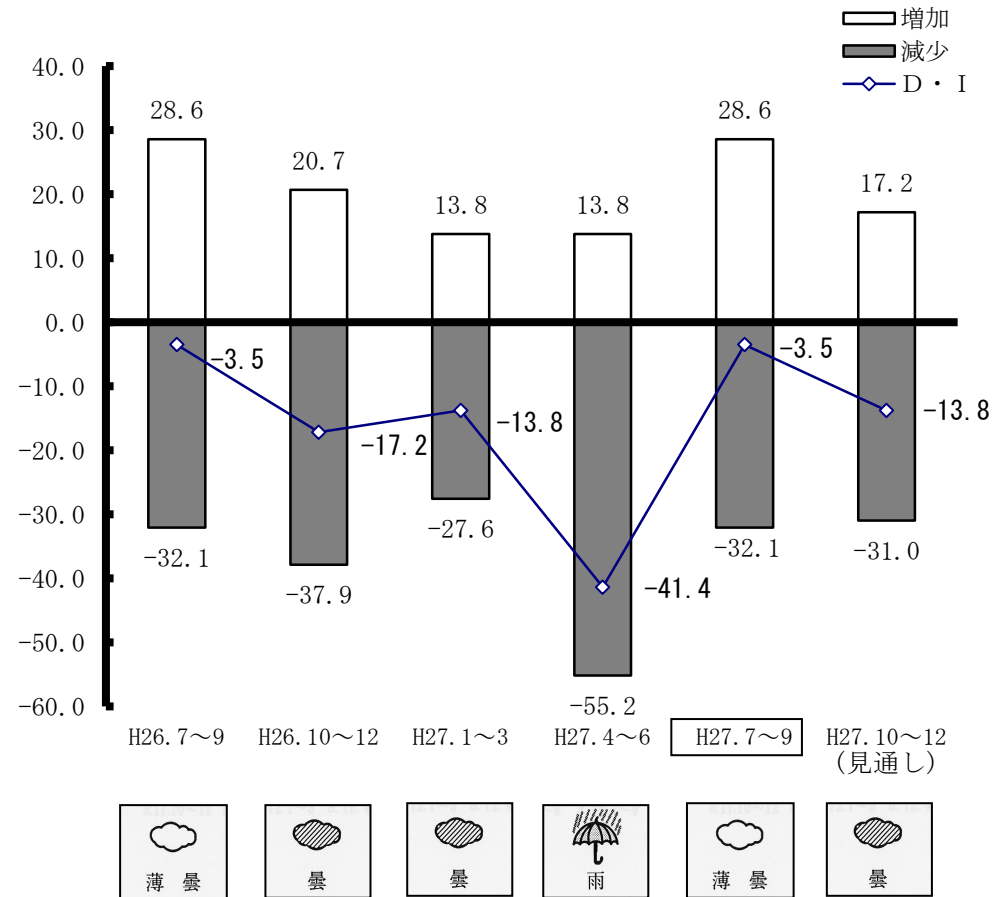


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が増加し、売上高減少企業が減少した結果、売上高D・Iは37.9ポイント上昇の△3.5と大幅に回復し、業況天気図も雨から薄曇に変化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が減少し、売上高の減少を予想する企業がほぼ横ばいであるため、売上高D・Iは△13.8まで悪化する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

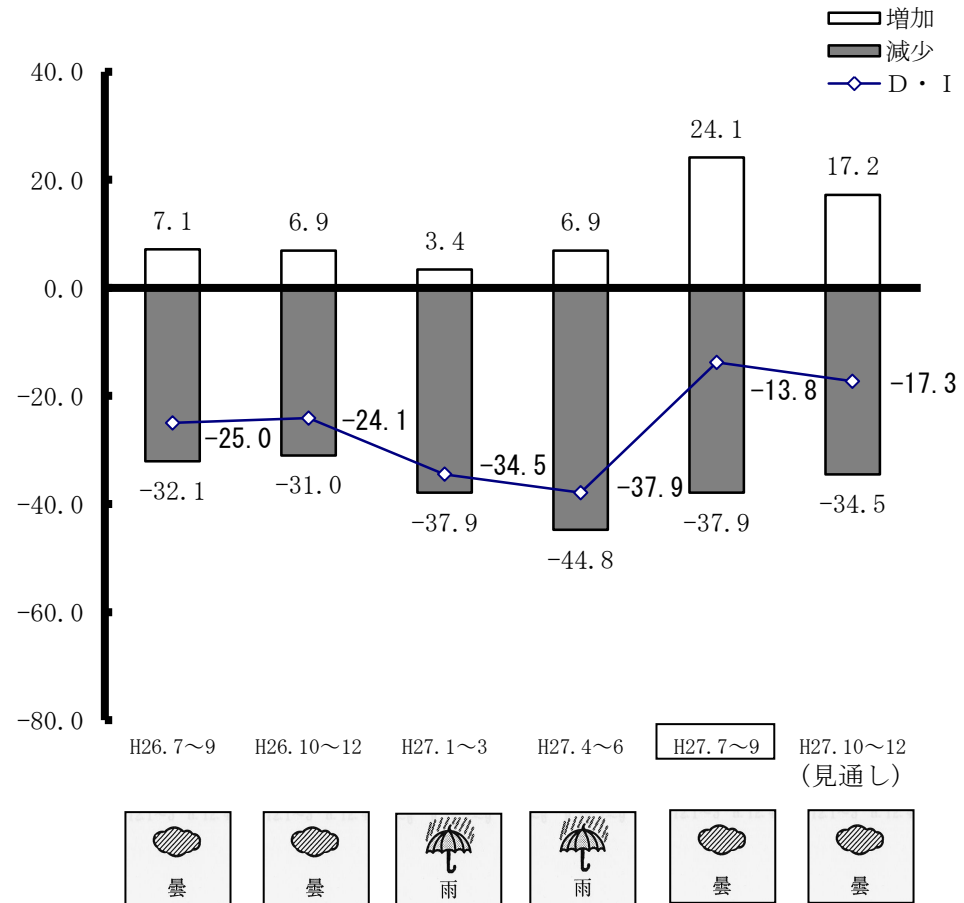


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が大幅に増加し、また、採算が悪化した企業の割合が小幅に減少したことから、採算D・Iは24.1ポイント上昇し、△13.8まで回復しました。

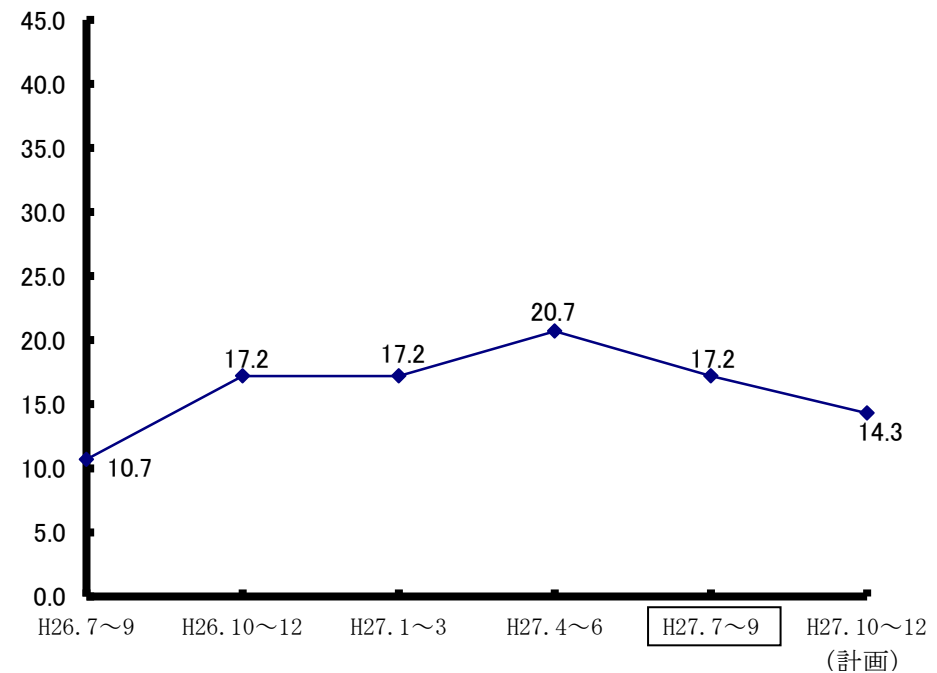
来期の採算D・Iは、採算が悪化するとした企業が減少するものの、採算の改善を予想する企業も減少することから、やや悪化する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を行う企業は減少し、17.2でした。

来期は、売上高、採算D・Iの悪化が予想されており、設備投資も引き続き減少すると見込まれています。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

経営上の問題点

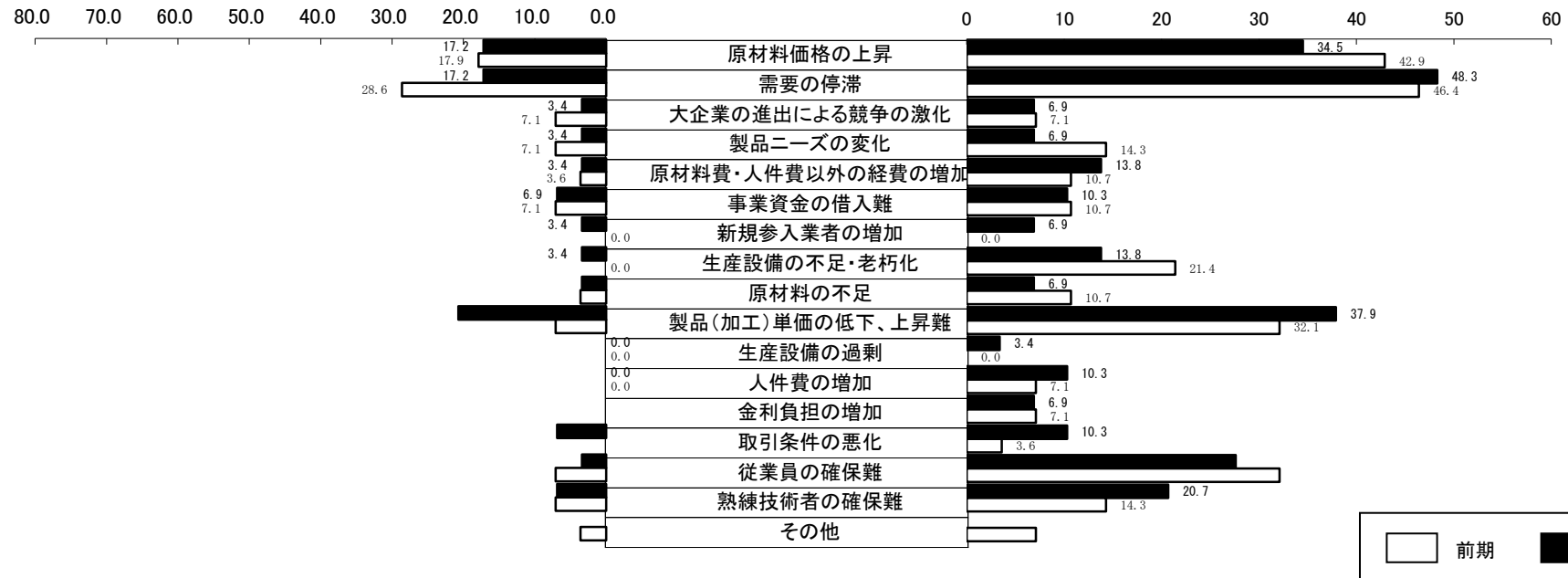
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

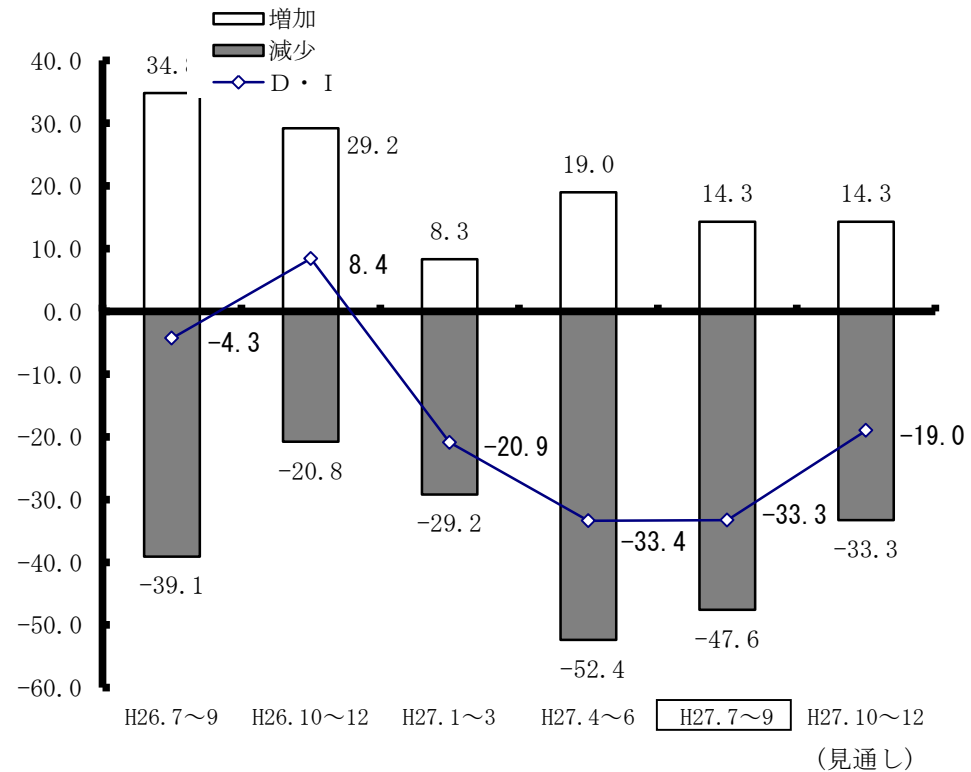


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が減少したものの、売上高減少企業も減少したことから、売上高 D・I はほぼ横ばいの $\Delta 33.3$ となりました。

来期は、売上高の増加を挙げる企業に変化がみられないものの、減少を挙げる企業の割合が減少しており、売上高 D・I は $\Delta 19.0$ まで、回復する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

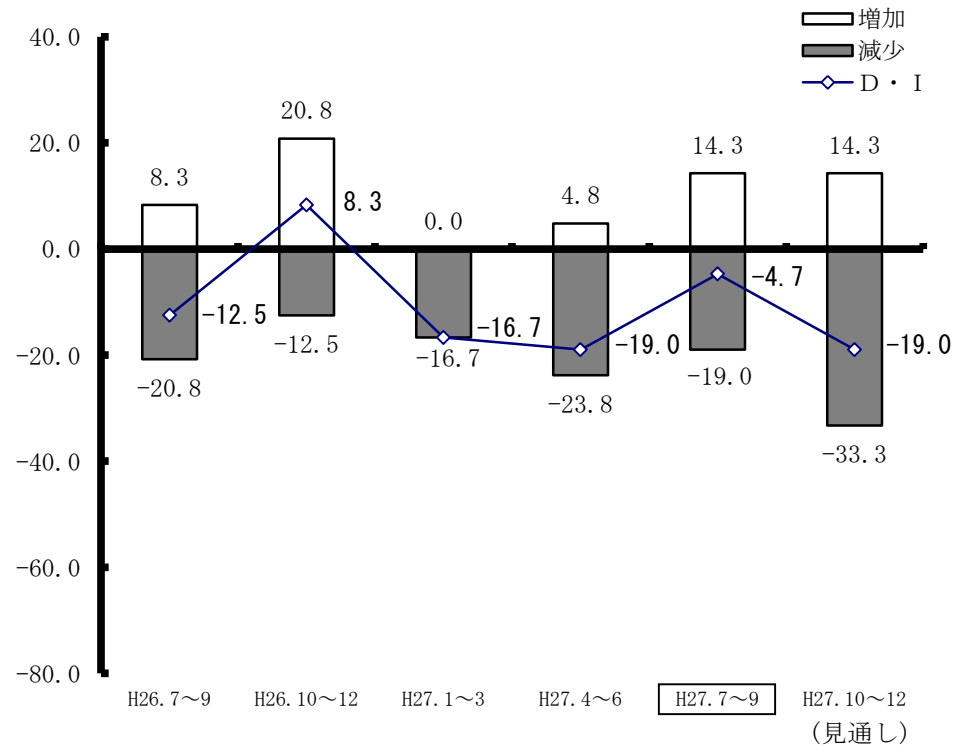


<来期見通し>



今期は、採算の好転を挙げた企業が大幅に増加し、また、採算が悪化した企業も減少したため、採算D・Iは14.3ポイント上昇の△4.7まで回復しました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が増加することから、採算D・Iは、△19.0まで悪化する見通しです。



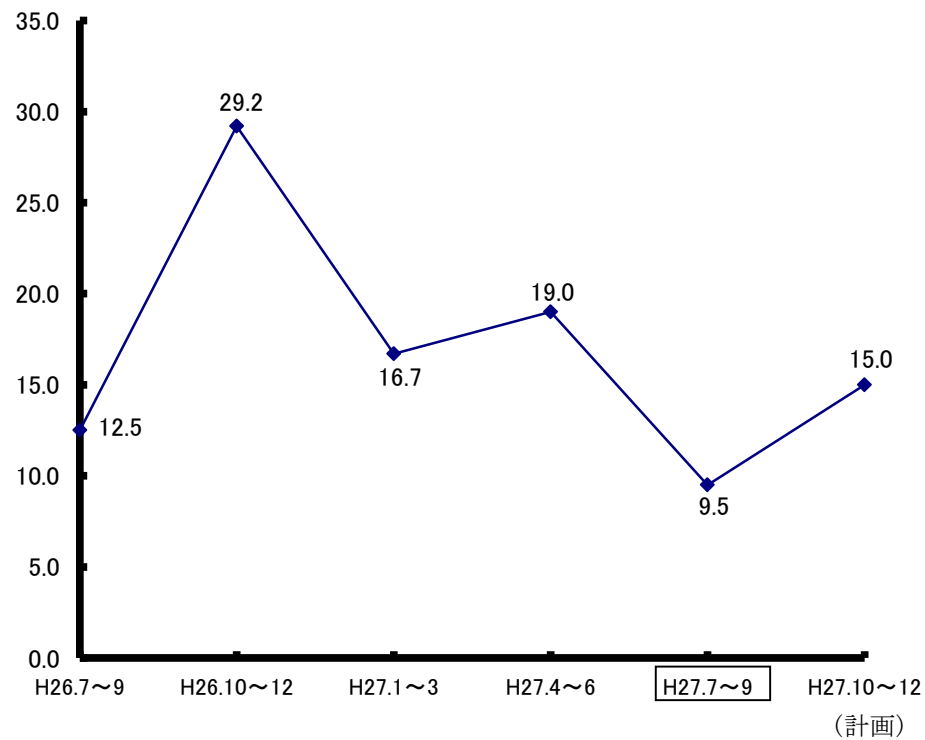
建設業の推移

設備投資

前期はやや上昇したものの、今期は設備投資を実施する企業は大幅な減少に転じました。

来期は、設備投資を予定する企業が再び増加し、15.0まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

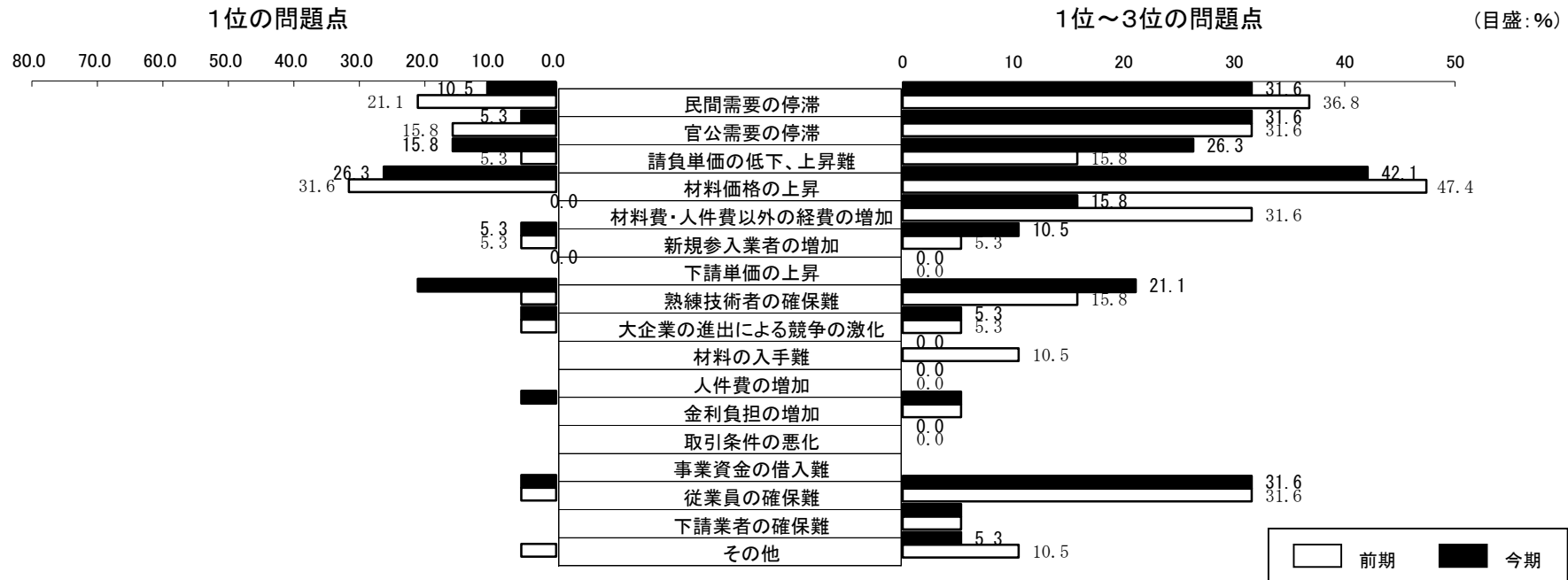


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

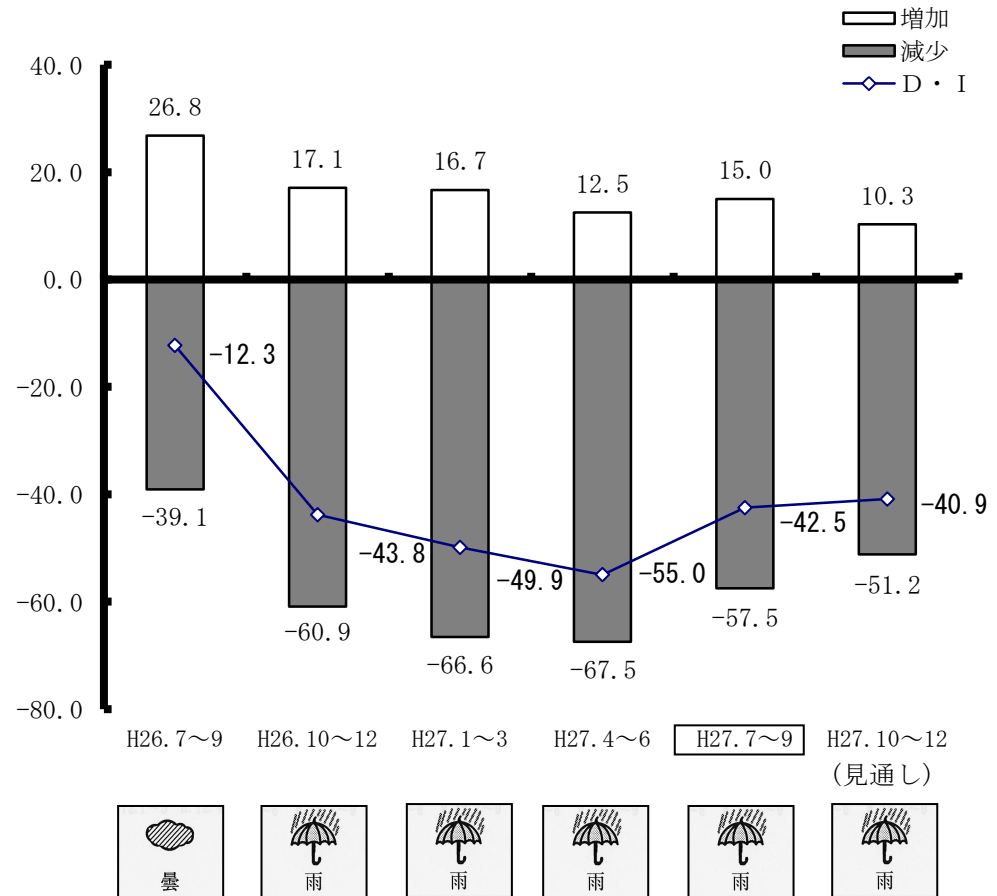


<来期見通し>



売上高増加企業がやや増加し、また、売上高減少企業も減少したことから、売上高D・Iは12.5ポイント上昇し、△42.5となりました。

来期は、売上高増加を予想する企業と売上高減少を予想する企業がともに減少する結果、売上高D・Iは、1.6ポイント上昇の△40.9となる見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

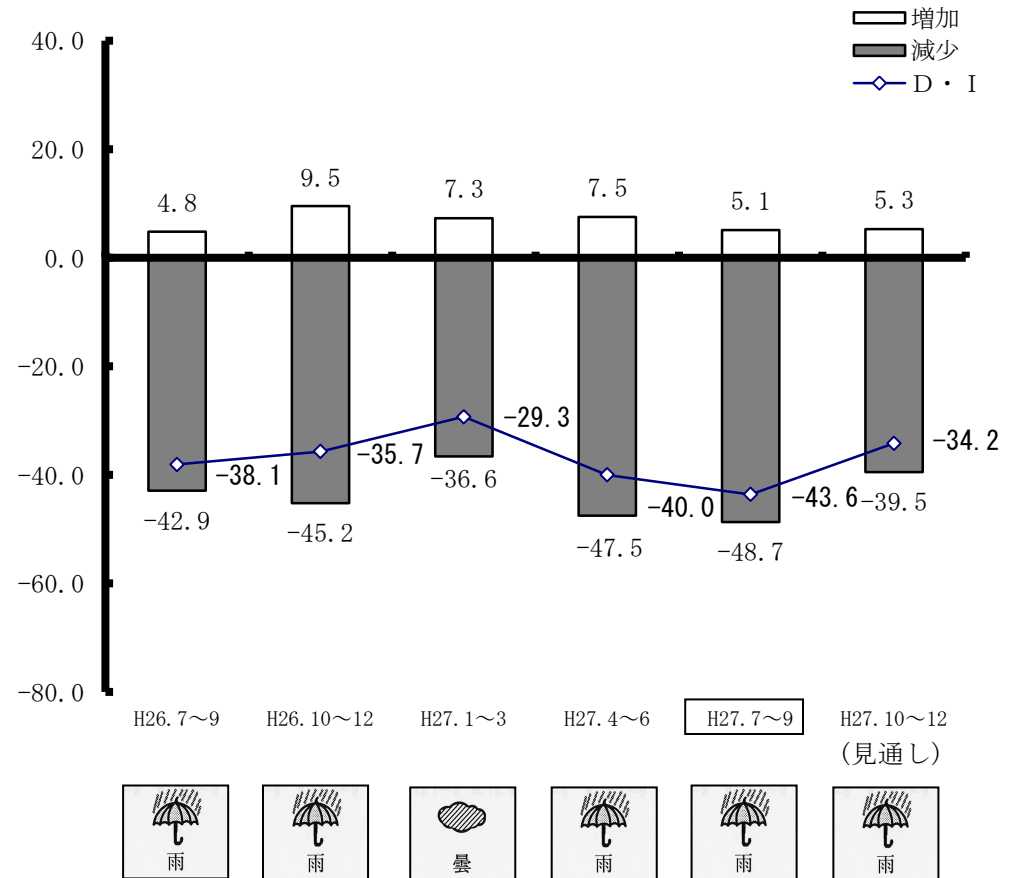


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業が減少し、採算が悪化した企業が増加したため、採算D・Iは3.6ポイント減少し、△43.6まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業はほぼ横ばいですが、悪化を予想する企業が減少することにより採算D・Iは△34.2まで回復する見通しです。

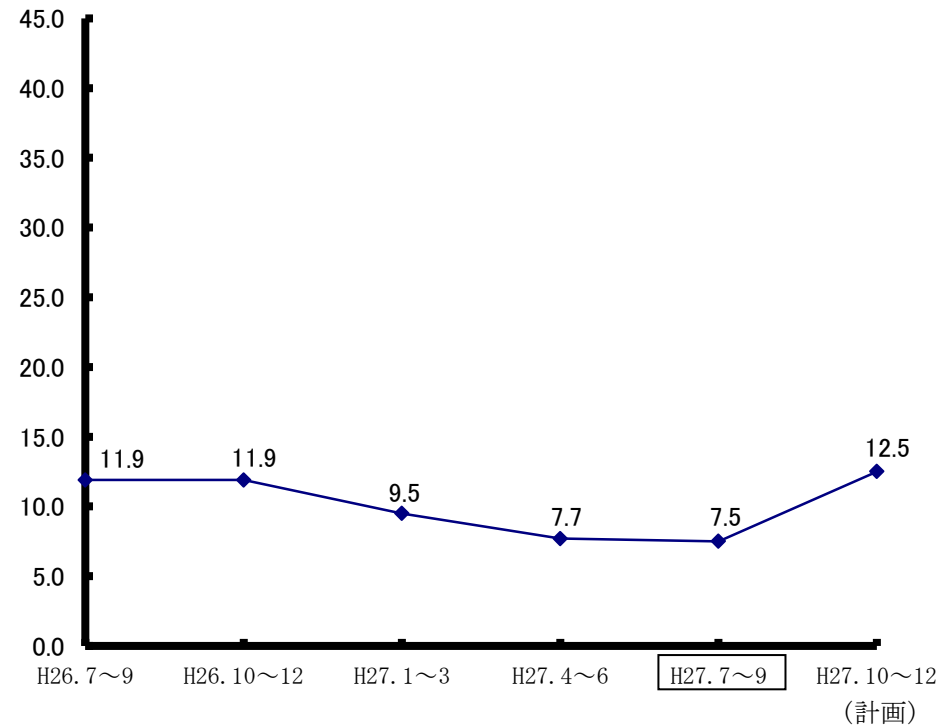


設備投資

今期に、設備投資を実施した企業は、7.5と小幅な減少となり、低い水準にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業が5ポイント増加し、12.5まで上昇すると見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

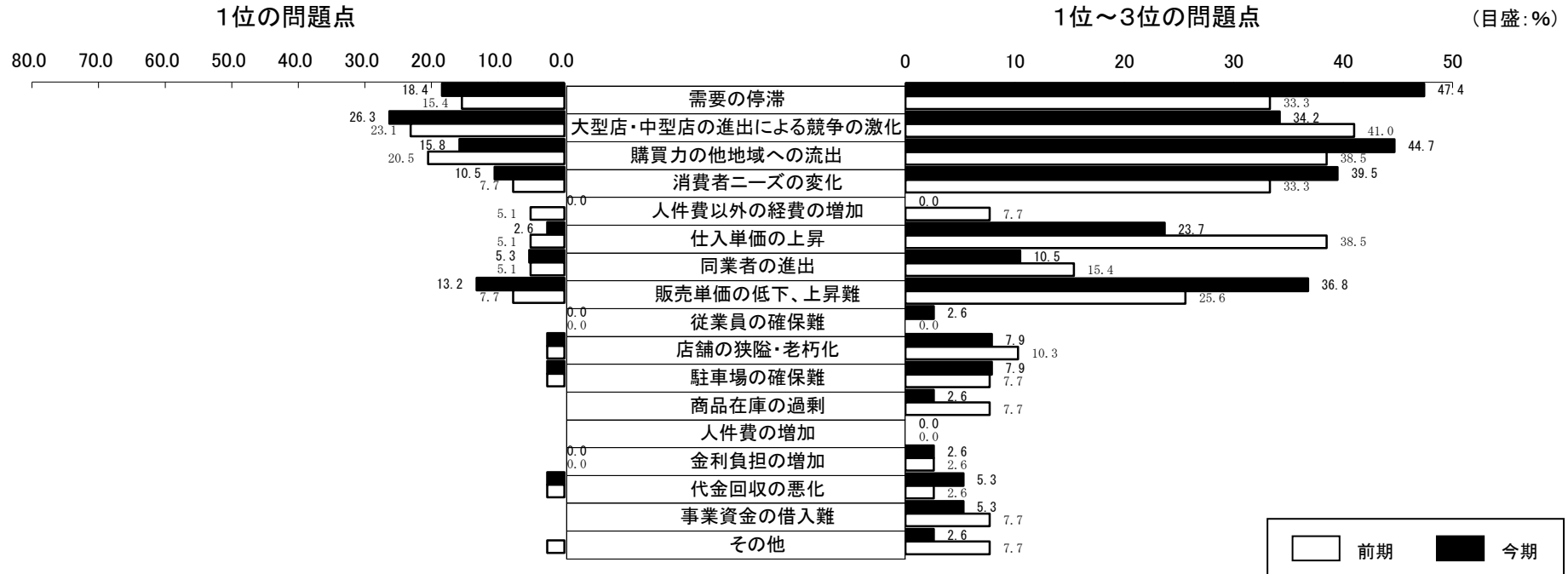


小売業の推移

経営上の問題点

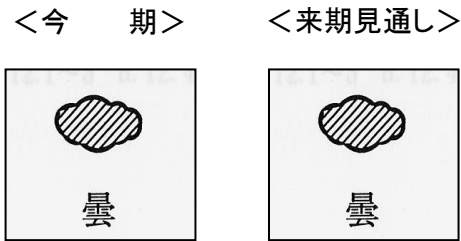
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



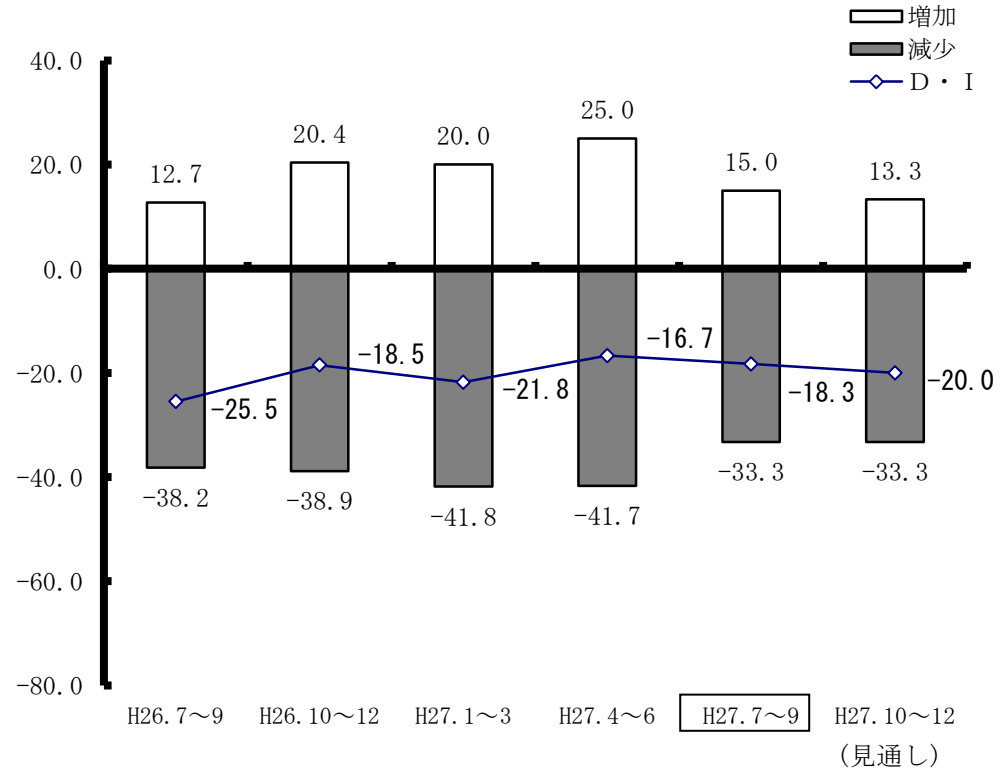
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高減少企業及び売上高増加企業がともに減少し、売上高D・Iは1.6ポイントの減少の△18.3となり、やや悪化しました。

来期は、売上高減少を予想する企業に変化は見られないものの、売上高増加を予想する企業がやや減少するため、売上高D・Iは△20.0まで悪化すると見込まれます。



サービス業の推移

採算

<今 期>

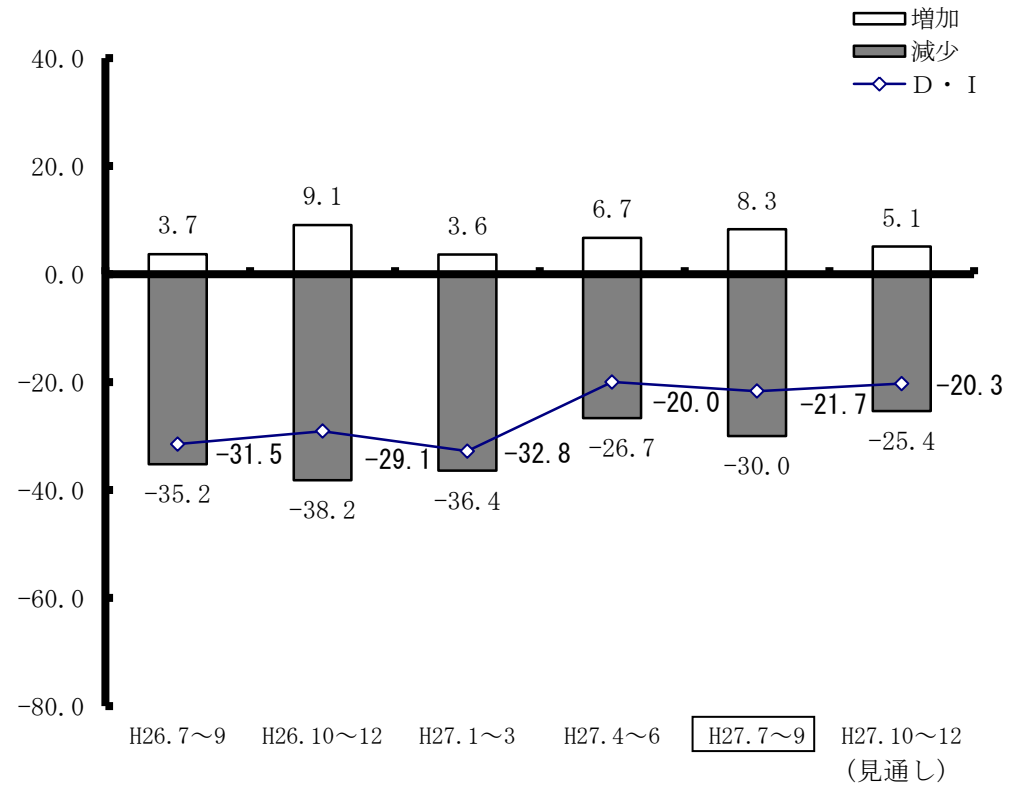


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業が増加したものの、採算悪化企業数の割合も増加したことから、採算D・Iは1.7ポイント減少し、△21.7となりました。

来期は、採算の改善を予想する企業、採算の悪化を予想する企業がともに減少する見込みで、D・I値は△20.3まで僅かに改善する見込みです。

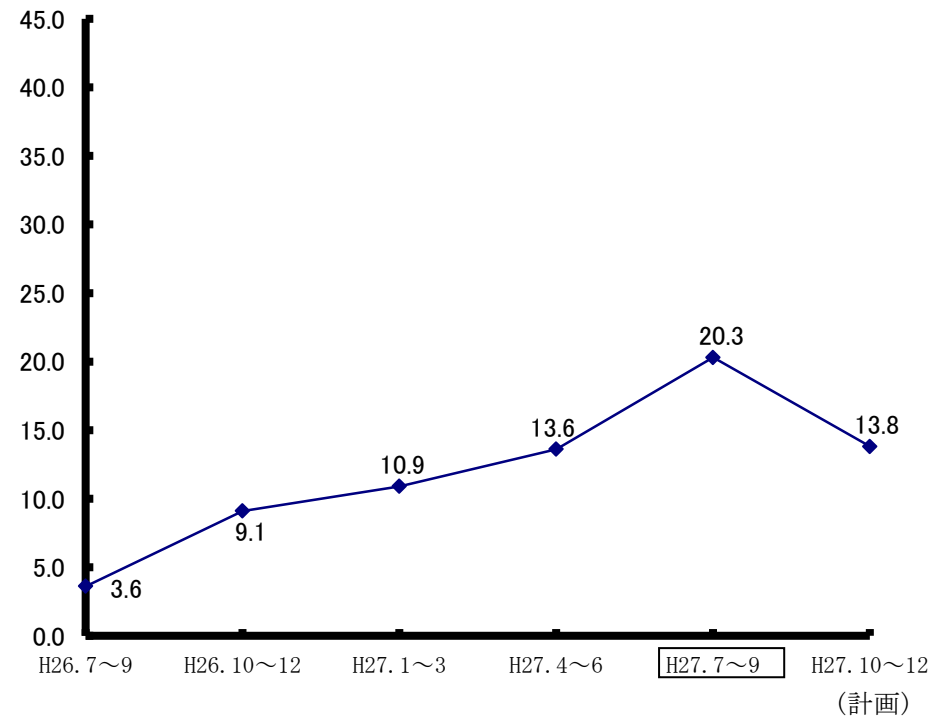


設備投資

今期は、設備投資を実施した企業が6.7ポイント増加の20.3となり、4期連続の上昇となりました。

来期は、設備投資を計画する企業割合の減少が見込まれ、13.8まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

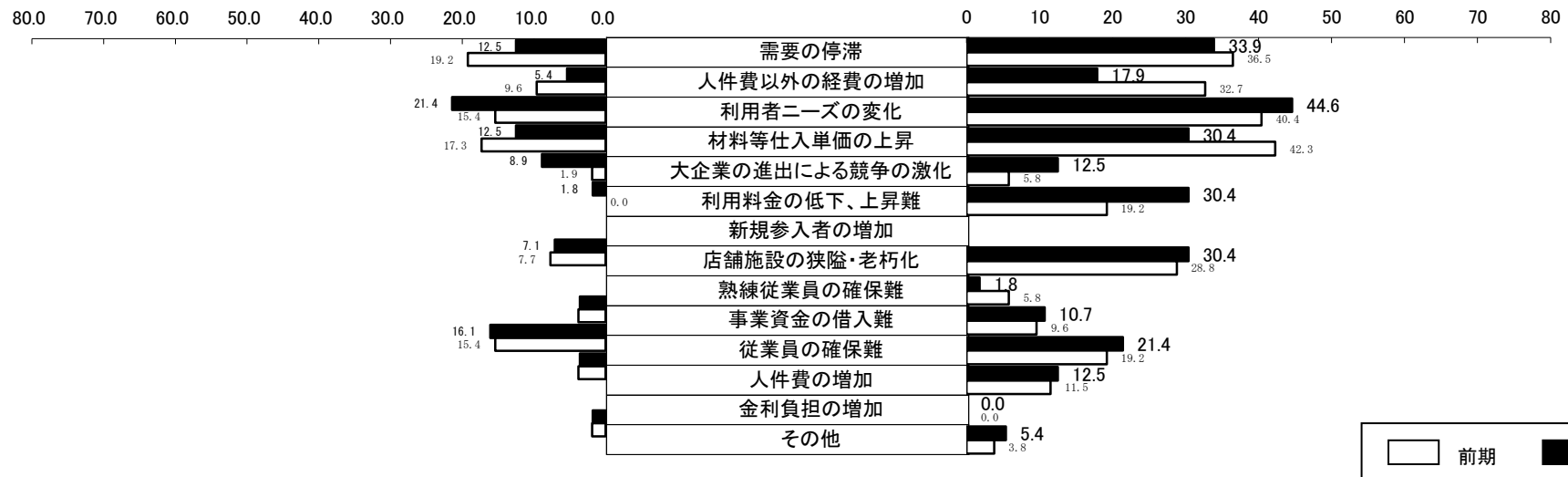
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

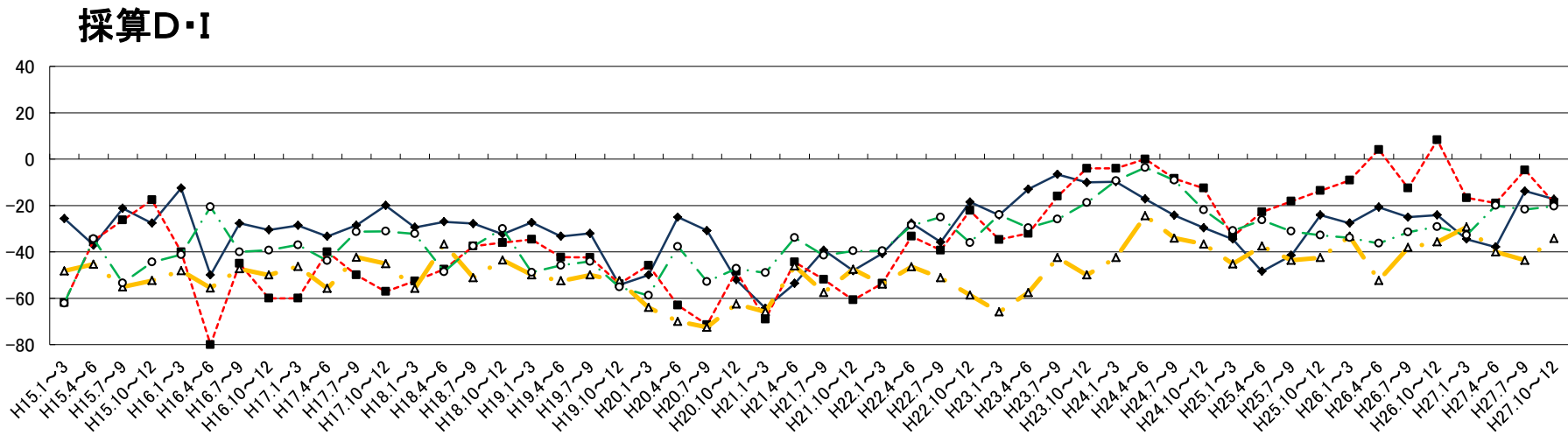
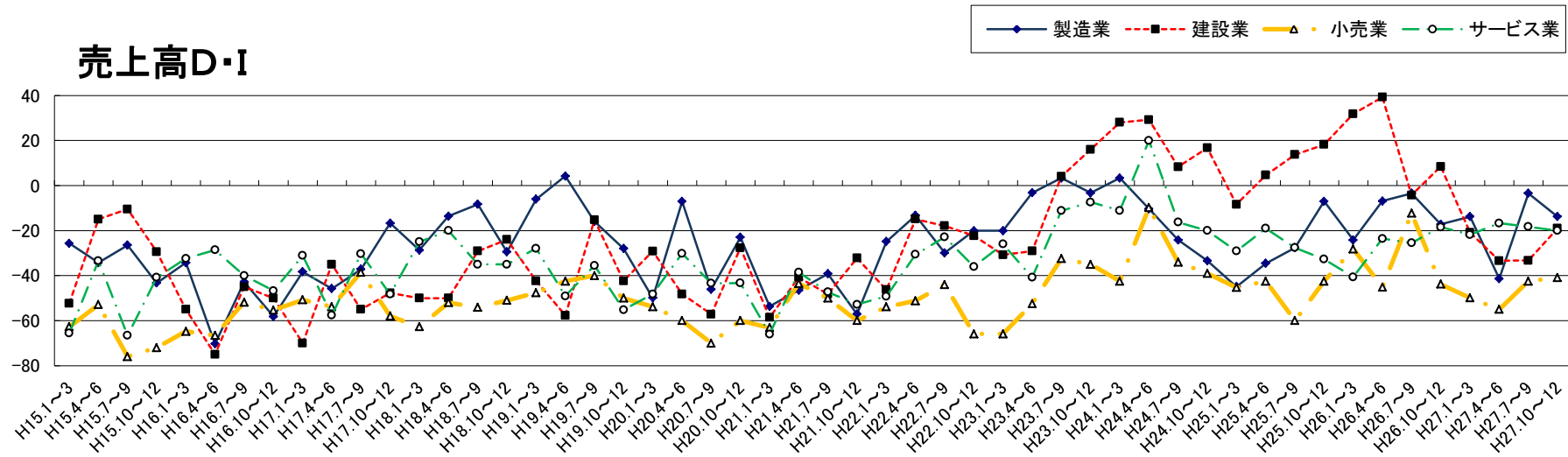
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成27年7月～9月を対象とし、調査時点は平成27年9月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		21 (14.0)	21 (14.0)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。